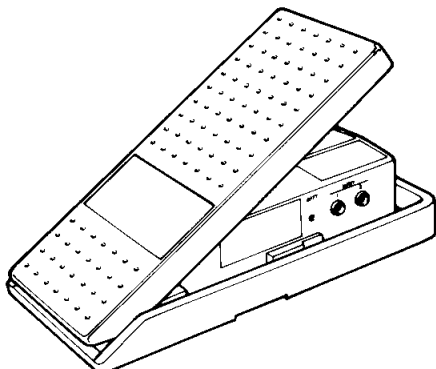


YAMAHA
FC9
FOOT CONTROLLER

OWNER'S MANUAL



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

- ⊘ この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。
- ⊘ 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。
- ⊘ 電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。
- 電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。
- ⊘ 電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-1/1BまたはPA-3B)以外は使用しない。
(異なる電源アダプターを使用すると)故障、発熱、発火などの原因になります。
- ⊘ 手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

- ⊘ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。
- ⊘ タコ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。
- 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。
- 乾電池はすべて+/−の極性表示通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ⊘ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。
- ⊘ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。
- 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
- ⊘ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。
- 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。
- ⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。
本体が変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。
- ⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
ケーブルをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
- ⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体が変色/変質の原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。
また、使用済みの乾電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

ヤマハフットコントローラー **FC9**

このたびは、ヤマハフットコントローラーFC9をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

FC9は、2種類の機器の音量を同時にコントロールできるだけでなく、CVコントロールも可能な電子ボリューム回路採用のフットペダルです。FC9の機能を正しく理解していただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、お願い申し上げます。

●目次

使用上の注意	10
使用方法	11
電源について	13
乾電池の交換	13
用途名の表示	15
ブロックダイアグラム	15
仕様	16
サービスについて	17
ヤマハサービスネットワーク	18

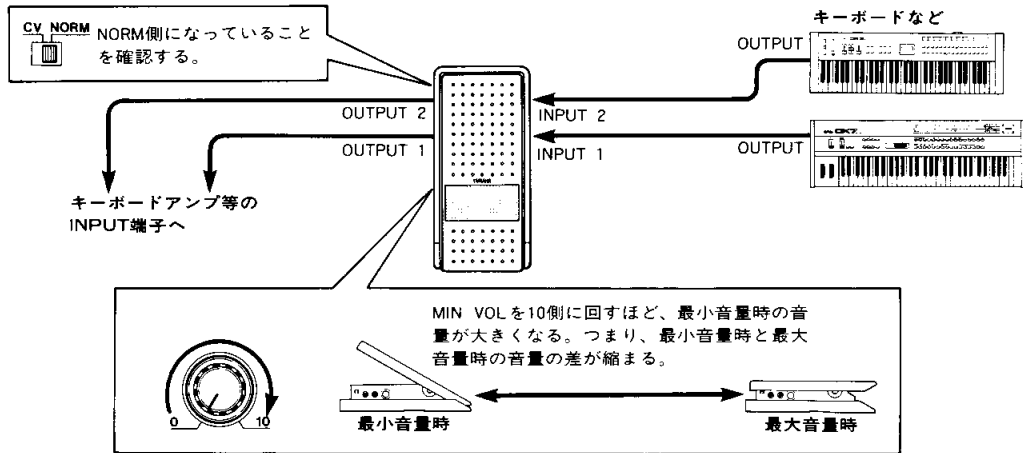
使用上の注意

- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- 電源アダプターは、PA-1、PA-1B、PA-3Bのいずれかをご使用ください。市販の電源アダプターには、電圧や極性の異なるものがあります。
- 長時間使用しない場合は、液もれによる故障などを防ぐため、乾電池を取り出してください。
- INPUT 1,2へプラグを差し込むと電源がONされるしくみになっていますから、使用しない時はプラグを抜いてください。
- BATTインディケーターが暗くなったり、点灯しなくなった場合は、新しい乾電池(006P/9V)と交換してください。
交換の方法につきましては、13ページの“乾電池の交換”の項をご覧ください。
- お手入れの際にベンジンやアルコールなどで拭いたり、近くでエアゾールスプレーを散布することはさけてください。

使用方法

●音量コントローラーとして使用する場合

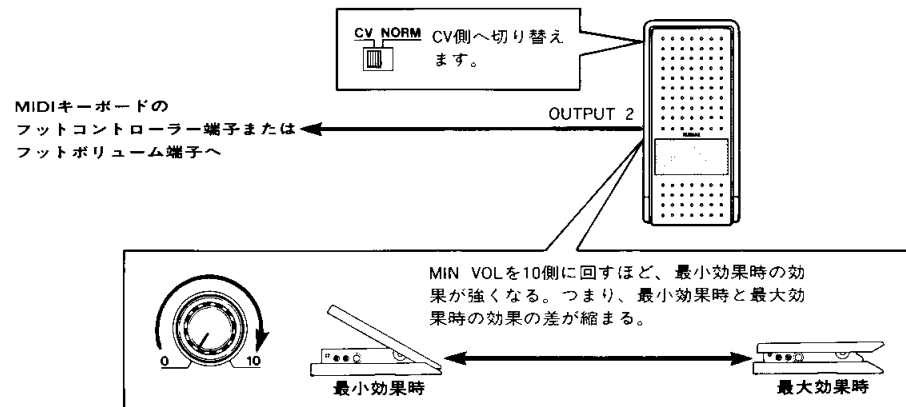
FC9は、2系統までの音量を同時にコントロールすることができます。



●INPUT 1へ入力した信号はOUTPUT 1へ、INPUT 2へ入力した信号はOUTPUT 2へそれぞれ出力されます。接続は、標準フォンプラグコードをご使用ください。

●CVコントローラーとして使用する場合

FC9は、FC7と同じように、MIDIキーボードのフットコントローラー、フットボリューム用に使用することもできます。



●CVコントローラーとして使用する場合には、OUTPUT 2端子を使い、市販の標準ステレオフォンプラグコードをご使用ください。

●CVコントローラーとして使用した場合でも、INPUT 1-OUTPUT 1側は、音量コントロール用に使えます。

電源について

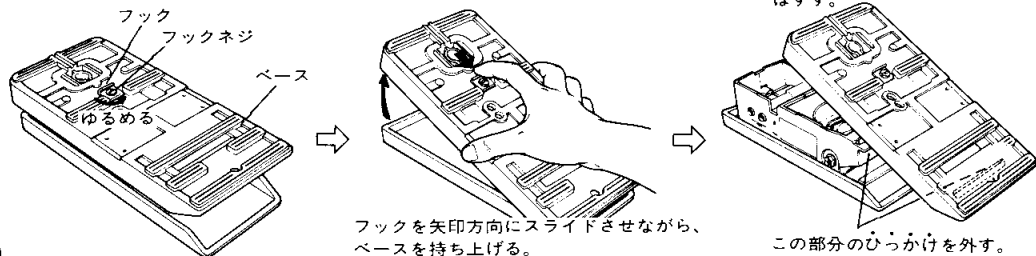
FC9は乾電池(006P)をセットすることにより動作しますが、別売の電源アダプター(→P. 10)でもご使用になれます。電源アダプターをご使用になれば、家庭用電源(AC100V 50/60Hz)で電源供給できます。



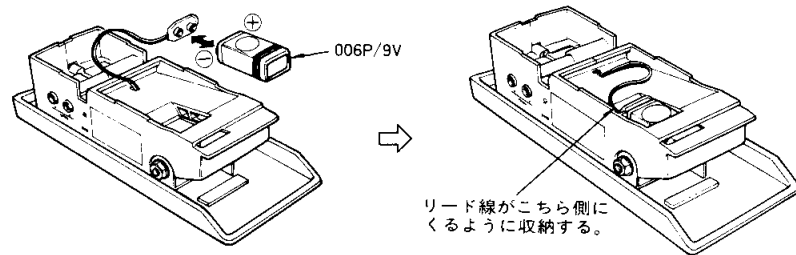
●電源アダプターと乾電池の両方をセットした場合、電源アダプターから電源が供給されます。

乾電池の交換

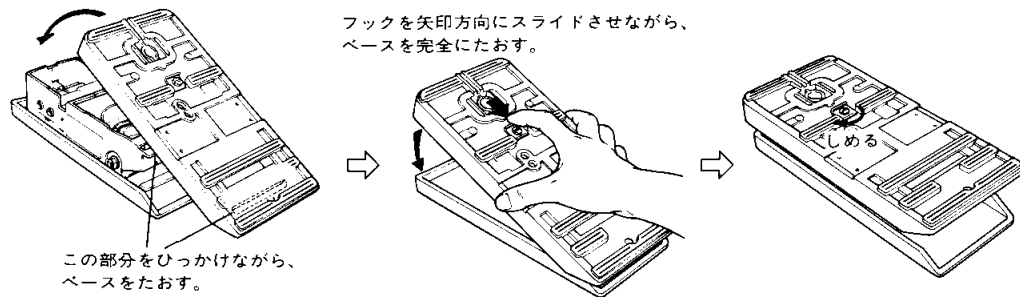
①FC9を裏がえしてフックネジをゆるめ、ベースを取り外します。



②電池収納部より乾電池をとり出し、新しい乾電池と交換します。



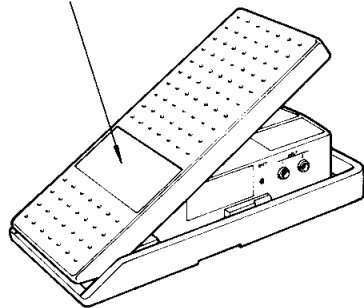
③ベースをもとのとおりに取り付けます。取り外した時と逆の要領で行なってください。



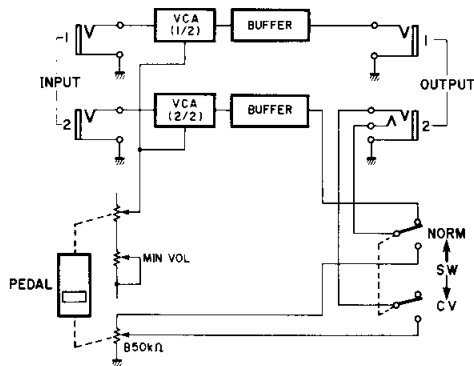
用途名の表示

複数のフットコントローラーを使用する場合には、それぞれの用途名を表示しておくことをおすすめします。

この部分に、ペダルの用途名 (VOLUME, MODULATION等) を記入したガムテープを貼ることができます。



ブロックダイアグラム



仕様

踏み込み角度	30°
NORMポジション	
最大入力レベル	+8dBm(電源電圧 9V時)
入力インピーダンス	10kΩ
ペダルMAX時減衰量	0 dB
ペダルMIN時減衰量	-20 dB (MIN VOL 10ポジション時) -70 dB以上 (MIN VOL 0ポジション時)
出力インピーダンス	560Ω
入出力位相	同相
CVポジション	
特性カーブ	B50kΩ (OUTPUT 2端子にステレオフォンプラグコードを接続)
LED	BATTインディケータ
電源	
乾電池(006P)	9V
電源アダプター	12V
消費電流	5mA
寸法(WxHxD)	116mm x 62mm x 246mm
重量	1.3kg
付属品	乾電池(006P)x1、オーナーズマニュアル、保証書

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとおわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ お客様ご相談窓口

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL(044)434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中区川島町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL(06)6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL(087)822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2134
[本社]カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-1158

■ デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL(022)222-6147
EM東京事業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5476
EM関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5447
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL(052)201-5199
EM大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL(06)6252-5231
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル	TEL(082)244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2130
電子楽器事業部 営業部	〒430-8650	浜松市中沢町10-1	TEL(053)460-2432

ホームページ
二フティサーブ

<http://www.yamaha.co.jp/>

[GO FMIDIVA]コマンドでFMIDIVAに入ると、ヤマハデジタル楽器およびDTM製品のフォーラムがございます。

電子会議	#16	ヤマハSynth & CBX情報ボード
	#17	ヤマハSynth & CBXユーザーズカフェ
	#18	ヤマハSynth & CBX相談室
データライブラリー	#8	ヤマハ/デジタルCBX

●所在地・電話番号などは変更されることがあります。



VD69030 906POCP5.2-02B0

M.D.G., EMI Division
© Yamaha Corporation 1993
Printed in Japan